



それでは発表を始めます。

今年の8月の2週間、私たちはアメリカのジョージア州にあるジョージア大学に研修に行ってきました。実験動物学研究室教授の佐々木先生と私たち9人の学生が参加しました。それに加えて、鹿児島大学から引率の安藤先生と学生3人、山口大学から引率の谷先生と学生1人も参加し、計16人という大所帯で大変賑やかな研修となりました。この写真はジョージア大学で記念撮影したもので、皆が来ている白衣はジョージア大学からプレゼントでジョージア大学獣医学部のロゴが入っていました。



皆さんはジョージア州について何か知っていることはありますか？ ジョージアと聞いてまず何を思い浮かべますか？ おそらく、多くの方は(■)このジョージアコーヒーを思い浮かべるでしょう。現に今回の研修で「ジョージアに行ってくる!」というとき多くの人が「コーヒー?」と聞き返しました。このコーヒーは、コカコーラ社が製造するコーヒーで、コカコーラの本社がジョージア州にあるため、この名前がついています。ちなみにアメリカでは販売されていないので、現地の人に「ジョージアはコーヒーで有名だよ」と言うと、変な顔をされるので注意しましょう(笑)。(■)もし、ジョージアで、ジョージアコーヒーを探しても売っていないので、おいしいコーヒーを飲みたければ、(■)おとなしくスタバに行きましょう。それでは、コーヒーではない方のジョージア、ジョージア州について少し説明したいと思います。



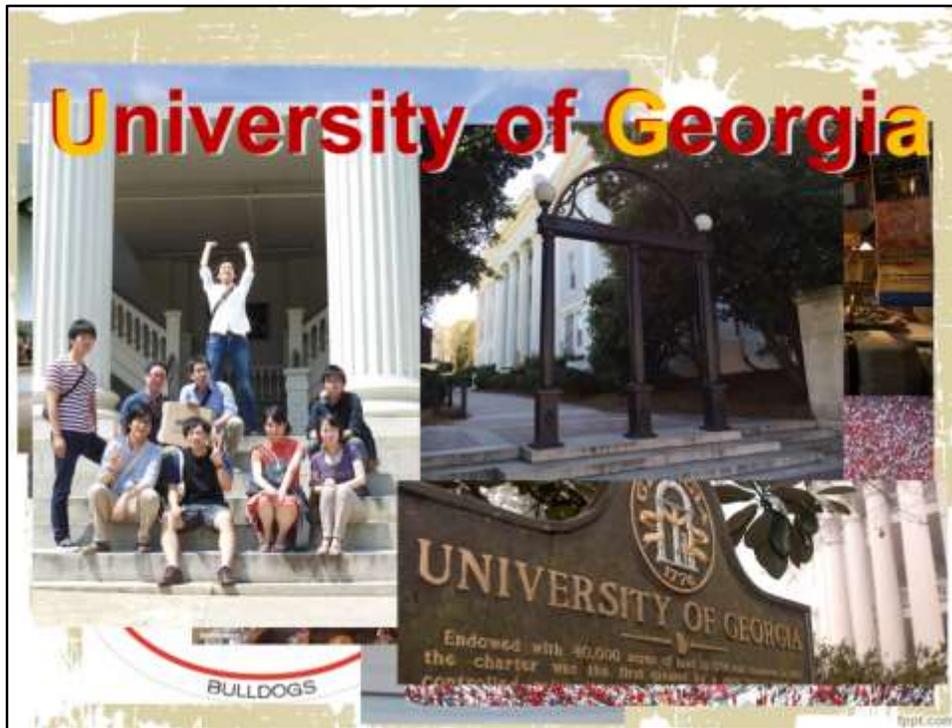
ジョージア州は、(■)アメリカの南東部にある州で、研修期間の8月はとても日差しが強く気温も35度を超えることもありましたが、湿度はそれほど高くないせいか、暑苦しくはありませんでした。しかし、アメリカでは湿度が高い方らしく、「東京の夏の方がもっとじめじめしているよ」というと「ありえない!」とっていました(笑)。また、ジョージア州は桃の産地としても有名で、ジョージア州の25セント硬貨(■) や車のナンバー(■)にも桃が描かれていました。南北戦争を題材にした有名な小説「風と共に去りぬ」は(■) ジョージア州が舞台となっております。街には南北戦争の間に製造された大砲(■) もありました。



ジョージア州の州都であるアトランタは、1996年の夏季オリンピック(■) の開催都市として有名で、アメリカ南部の商業・経済の中心であり、コカ・コーラ(■)やデルタ航空(■) 、CNN(■) など多数の大企業の本社が置かれています。(■)またコカコーラ博物館や(■)水量世界一の水槽があるジョージア水族館などの観光地もあり、日本人観光客も多くみられました。今回の研修でも休日などにアトランタの観光地を回ることができました。



ジョージア大学があるのは、アトランタから車でおよそ1時間ほどの距離にある(■) アセンズという街にあります。大学前のダウンタウンには、(■) レストランやバーなども充実しており、夕食はよくダウンタウンで食べていました。また、アセンズは(■) 音楽や芸術などの文化が盛んで、劇場やカントリーミュージックの聞けるオシャレなお店も見られました。夜の9時ごろまでは外も明るく、治安も悪くないので夜でも安心して街を歩くことができました。



ジョージア大学は1785年に設立された州立大学で全米で最も古い歴史をもつ州立大学の1つです。英語でいうと「University of Georgia」ということで、(■) UGAという名前で親しまれています。学生数は学部と大学院を合わせて約35000人もいます。アメフトを始め、テニス、水泳、陸上競技、バスケ、野球などが盛んで、これらジョージア大学のスポーツチームを「ジョージアブルドックス」といい、(■)そのマスコットキャラクターがこのブルドッグのアガ(Uga)で、大学内だけでなく、スーパーマーケットの一角にもアガのグッズショップがあったり、(■)「G」と書かれたナンバーを付けている車や「G」と書かれたTシャツを着ている人を多く見かけました。そのくらい熱狂的なファンが多く、アメフトのシーズンでは大学内の9万人収容のスタジアムが満席になるそうです。(■)その他にもビュッフェ形式の大きな学食や有名なアンディ・ウォーホルのキャンベルスープの絵やピカソの絵が展示されている美術館もありました。(■)大学の北側のダウンタウンに面した場所には歴史的な建造物が多く見られ、1785年に設立したUGAの長い歴史を感じることができます。右上の門はこの大学のシンボルであるUGAアーチというもので、「アーチの下をくぐると試験に落ちる」「卒業できない」という言い伝えがあり、学生はこのアーチの両脇を通ります。(■)そのことを事前に知っていた佐々木先生以外の私たち9人は何も考えることなく、このアーチの下を通過しました。(笑) 来年ジョージアに行く人は気をつけましょう(笑)。

College of Veterinary Medicine(CVM)



ジョージア大学は16の教育機関で構成されており、その一つが獣医学部である College of Veterinary Medicine(CVM)です。

CVMは1946年に設立され、(■) 1学年114人の学生と、73人の教員からなります。この写真から分かる通り学生の多くが女性で、約4分の3が女性でした。(■) 学部長も女性でとても美人な方でした。(■)

この病院は今年の3月にできたばかりで、(■) まだまだ新しく、数億円するという放射線治療機器があるなど医療機器は充実しており、また迷子になるくらい広い病院でした。講義室もこのように広々としていて、先生に見つからないように前の席の人の影に隠れて居眠りすることができないくらい席と席の間に余裕がありました。



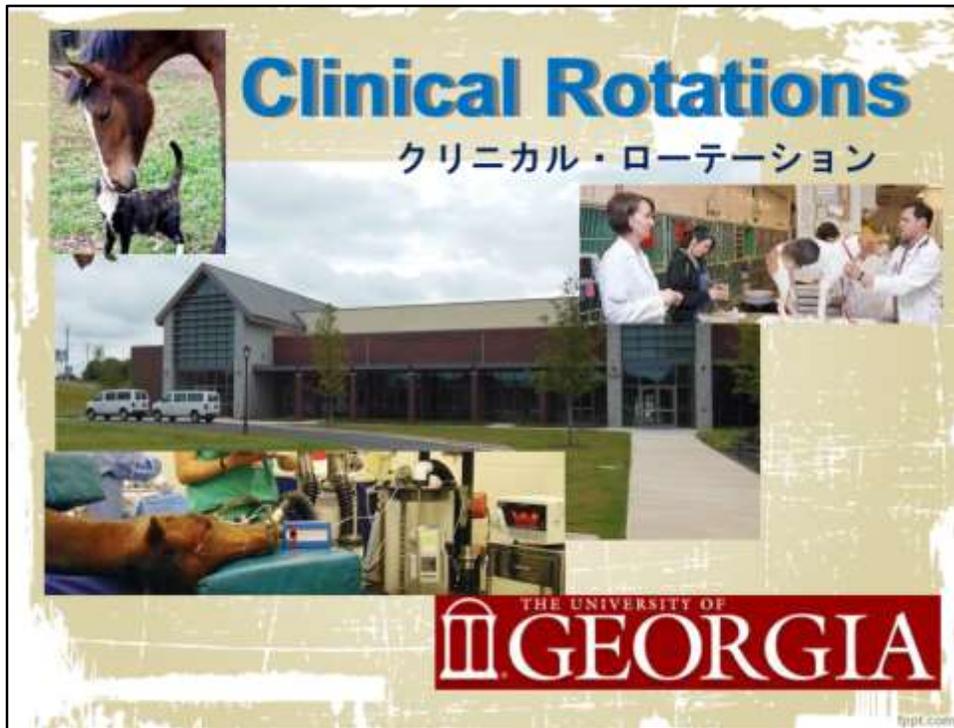
今回宿泊したUGAホテルはジョージア大学内にあるホテルで、2人1部屋で宿泊しました。ホテル内には2つのレストラン、自動販売機、バーがありました。また洗濯機と乾燥機があり、そこで衣服を洗濯することができます。UGAホテルには午後10時まで利用できる12人乗りのバンがあり、2マイル以内であればフロントのコンシェルジュに行き先を伝えれば行きたいところに連れて行ってくれます。ダウンタウンに食事に行く時や日用品をスーパーに買いに行く時などにとっても便利でした。

SCHEDULE

8/15(SAT)	アトランタ到着→UGA到着
8/16(SUN)	自由行動、ショッピング(Publix)
8/17(MON)	オリエンテーション、大学案内、UGA学生と夕食
8/18(TUE)	クリニカル・ローテーション、永田先生と夕食
8/19(WED)	クリニカル・ローテーション、ビール工場(Terrapin)見学
8/20(THU)	クリニカル・ローテーション
8/21(FRI)	コカコーラ博物館、CNNで昼食、UGA学生と夕食
8/22(SAT)	学生主催のプールパーティ
8/23(SUN)	Gogal先生宅でパーティ
8/24(MON)	クリニカル・ローテーション
8/25(TUE)	クリニカル・ローテーション、学生主催のパーティ
8/26(WED)	クリニカル・ローテーション、UGA学生と夕食
8/27(THU)	クリニカル・ローテーション、Cornell先生宅でパーティ
8/28(FRI)	ジョージア水族館、CNNで昼食、アトランタ泊
8/29(SAT)	アトランタ発

これが今回の海外研修のスケジュールです。

大学病院での実習となるクリニカルローテーションは、基本的に月曜日～木曜日の9時から16時にあり、今回の実習では7日間ありました。クリニカルローテーション以外にもジョージア大学のコーディネータの方や多くの学生が私たちをいろいろなお店や観光地に連れて行ってくださり、とても充実したスケジュールとなりました。また、当初のスケジュール以外にも、向こうで出会った日本人の先生とご飯に行ったり、学生が主催するパーティに招かれることもありました。



次に大学病院での病院実習であるクリニカル・ローテーションについて説明します。

Clinical Rotations

- **Small Animal Surgery**(小動物外科)
- **Small Animal General Surgery**(小動物軟部外科)
- **Small Animal Orthopedic Surgery**(小動物整形外科)
- **Small Animal Internal Medicine**(小動物内科)
- **Small Animal Community Practice**(小動物一次診療)
- **Emergency and Critical Care**(救急)
- **Large Animal Surgery**(大動物外科)
- **Theriogenology**(家畜繁殖)
- **Exotics**(エキゾティクス)
- **Pharmacy**(薬局)
- **Diagnostic Pathology**(診断病理)



クリニカルローテーションでは、救急、エキゾティック、家畜繁殖、臨床病理、小動物軟部外科、小動物整形外科、小動物一次診療、小動物内科、薬局等で研修ができます。ここに書いてあるのは、私たちが今回行った実習先です。ここに書いてある以外にもまだまだいろいろな科はあるので、希望すれば見学は可能だと思います。

NAME	ROTATION(Aug18-20)	ROTATION(Aug24-27)
MAI SUZUKI	Emergency and Critical Care	Exotics
KUNIKO YOSHIMURA	Emergency and Critical Care	Small Animal Community Practice
RYOTA OKADERA	Exotics	Large Animal Surgery
KAZUHITO KASAI	Theriogenology	
HIROKI KANAZAWA	Diagnostic Pathology	Pharmacy
TAKAAKI SAITO	Small Animal Surgery	Exotics
AKIRA SHIBATA	Small Animal Orthopedic Surgery	Small Animal General Surgery
AKIRA SUGIYAMA	Small Animal Community Practice	Pharmacy
TAKAHIRO MAKI	Small Animal Internal Medicine	Small Animal General Surgery
MEI MATSUO	Small Animal Internal Medicine	Small Animal Orthopedic Surgery
KANA IKEDA	Small Animal General Surgery	Small Animal Internal Medicine
KAZUAKI IGARI	Small Animal Orthopedic Surgery	Small Animal Community Practice
KAZUKI MAEMICHI	Small Animal Community Practice	Small Animal Internal Medicine

クリニカル・ローテーションは、日本での事前アンケートで、何科に興味があるのかの回答に準じて、1人あるいは2人配属されます。これが、今回のクリニカル・ローテーションのスケジュールです。今回は前半3日間、後半4日間で1人2つの科に配属されました。基本的にこのスケジュールに沿って、研修を行うこととなりますが、日によっては診療がほとんど入っていないこともあったり、また、他の科も見てみたいという場合には、大学病院内であれば、比較的フレキシブルに変更が可能です。実際、1日にいろいろな科を回ることも可能でした。

それでは、一日の流れを説明します。

まず、毎朝8時30分にホテルにバンが迎えに来ます。それに乗って、全員で大学病院に行きます。

お昼は、各自で判断して、だいたい12:00頃から1時間程度とることになっています。終了時間は、16:00と決まっています、その時間に動物病院の入り口に集合して、みんなでホテルに帰ります。

実習中は周りに日本人はいないので、最初はとても不安でしたが、病院の先生や学生は皆親切で、質問しても嫌そうな顔を一切せずに答えてくれ、分かりやすい英語で、紙とペンやGoogle翻訳などを使いながら丁寧に説明してくれるので、英語に自信がない人でも何とかやっているといます。

それではそれぞれの科でどんな見学ができるのかについて簡単に説明していきたいといます。



Theriogenology

家畜繁殖科



Dr. Stawicki

・家畜繁殖科ではStawicki先生が、毎朝8時にホテルに迎えに来てくれます。そのため、他の科よりも、早く研修が始まることとなります。

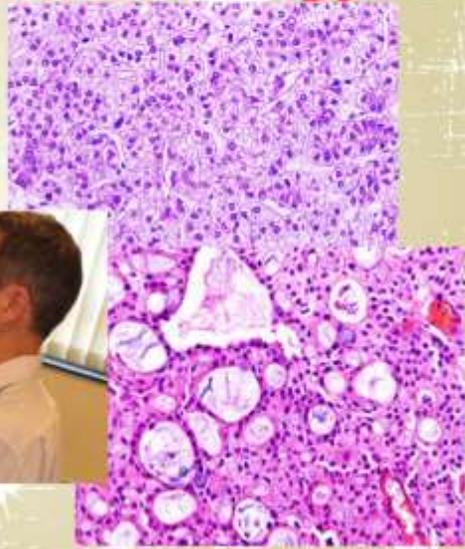
またこの科では、馬とイヌをメインに扱っています。馬の治療や繁殖は日本ではそれほど多く目にするにはできないので貴重だと思います。

精液採取、精液性状検査、人工授精、馬の直腸検査等が見学できます。

また、先生と一緒に往診で農場に出かけて、エコー検査や処置に立ち会うことができます。農場では広大な土地に馬が約20頭ほど放牧されていて、アメリカらしさを感じることができました。このStawicki先生はとてもフレンドリーで、私たちに分かりやすい英語で、分かりやすく説明してくれるいい先生でした。また、往診中に馬が逃げだすハプニングもありましたが、それらも含めてとてもいい経験ができました。

Diagnostic Pathology

病理診断科



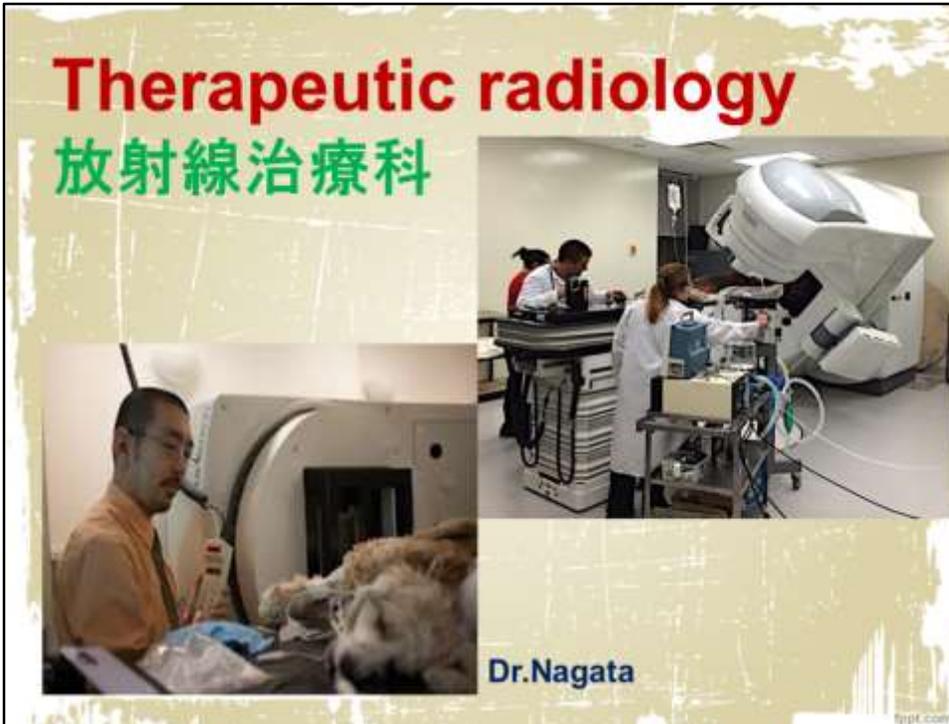
・病理診断科では、午前中は、研究室でジョージアの学生と共に、血液学などの講義を受けます。また、過去に解剖した症例について、症例検討会が行われています。午後からは、シャトルバスに乗って少し離れた旧校舎に移動して、病理解剖を見学します。病理解剖は学生が主体に行っています。学生が説明してくれることもありますが、質問があれば、積極的に話しかけてください。今回の研修では、イヌやアルパカの病理解剖を見ることができました。



・Pharmacyは、薬理学ではなく、いわゆる薬局です。各診療科で診察を受けた患者のデータがパソコン上に送られてきて、そのデータを基に薬を調合しています。薬は、薬局の窓口に置いておくと、各科の担当者が取りに来ます。大きな病院だったので、薬局の薬を保管している棚も多く、どうやって薬を管理したり、調剤しているのを見ることができました。ただし、動物とは直接かかわることもなく、作業としては毎日同じような作業なので1日あれば、十分見学できると思われます。

Therapeutic radiology

放射線治療科



・放射線治療科には、永田先生という日本人の専門医の先生がいらっしゃいます。とても面倒見の良い先生で、放射線科の見学だけでなく、クリニカルローテーションの調整や、おいしいレストランやショッピングなどにも連れて行ってくださいました。2週間に渡り、大変お世話になりました。また、永田先生からは、放射線治療に関わる器具やその治療方法などをレクチャーして頂きました。説明のとても上手な先生ですので、是非来年、ジョージア大学に行かれる方は、放射線治療科を見学することをお勧めします。

Small Animal General Surgery

小動物軟部外科



- ・軟口蓋過長
 - ・乳び胸
 - ・腫瘍摘出
 - ・動脈管開存症(PDA)
 - ・骨肉腫による前肢切断
 - ・腹腔鏡による避妊
- など

・小動物軟部外科では、曜日によって手術を朝からずっといれている日と、講義がメインの日があります。はじめに、どの曜日が手術の日なのか、また何件行うのかといった予定を、現地の学生に確認しておくのがよいかと思います。また手術室は7室程あり、学生や若手の先生がメインで執刀するため、2、3の手術が同時並行して行われます。その日の手術のスケジュールは、ボードに張り出されています。軟口蓋過長、乳び胸、腫瘍の摘出、動脈管開存症(PDA)、骨肉腫による前肢切断手術、腹腔鏡による避妊手術など多くの手術を、見学できました。術野が見えにくい場合は、台を貸してくれますので、上から良く術野が眺められました。



- ・関節鏡を用いた手術
- ・TPLO
(前十字靭帯断裂の治療)
- ・膝蓋骨脱臼
- ・大腿骨の螺旋骨折
など

Small Animal Orthopedic Surgery
小動物整形外科

・小動物整形外科も、曜日によって手術を多く入れる日と、講義がメインの日が決まっていました。

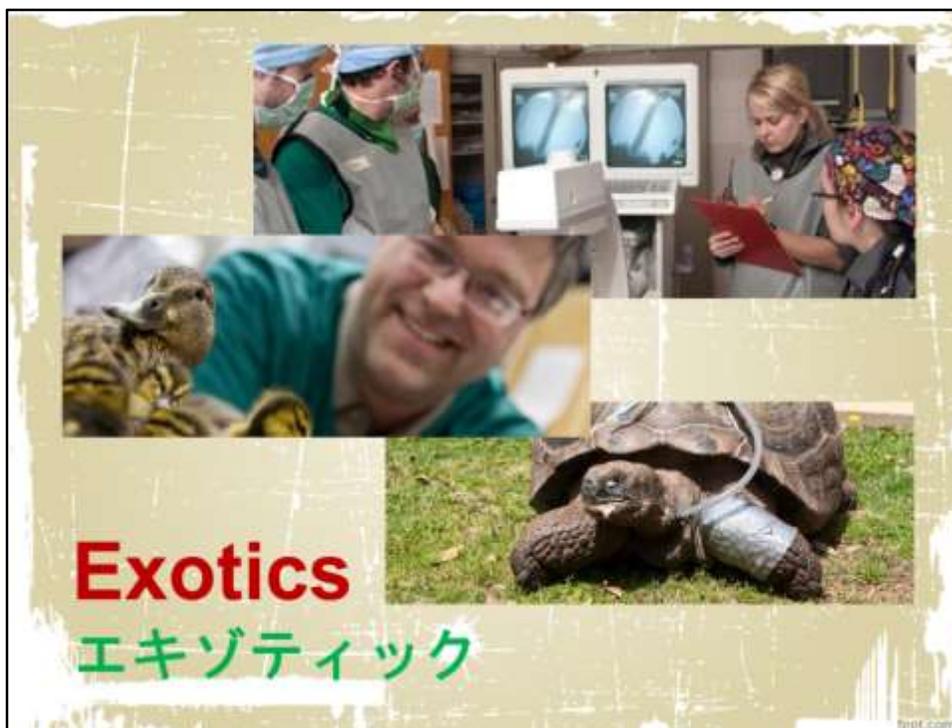
多い日は、6件の手術が予定されており、2件ずつ同時進行します。関節鏡を使って行う手術や、前十字靭帯断裂の治療であるTPLO、膝蓋骨脱臼や大腿骨の螺旋骨折などの手術が見学できました。

Emergency and Critical Care

救命救急治療科



・救急では、ネコやイヌの、尿道脱、コクシジウムによる下痢脱水の治療などが見学できました。神経学的検査をさせてもらった人もいました。日によって、患者が多い日と、まったく患者がこない日があるので、患者がこないときにはボスに言って他の科の見学をしました。



・エキゾティックでは、治療方針の検討会から、見学することができます。
今回の研修では、赤ちゃんリスへの授乳をさせていただいたり、サル、シカ、モモンガ、カメレオン、オウムなどの検査や治療を見学することができました。



・小動物一次診療科は、大学付属の動物病院から離れた場所にあります。イヌやネコの歯の治療や、去勢・避妊手術、尿やフィラリアの検査などが見学できます。また手術は、執刀する学生に、指導教員がワンツーマンで教えながら進められるため、手術に立ち会うことで、一緒に一から教わることができます。基本的な疾患で来院する患者が多いので、目新しい症例は少ないかもしれませんが、一番理解しやすく、為になるところかもしれません。



・小動物内科では、担当する学生がひとりで問診をとり、飼い主からの情報や、一次診療から送られてきた資料等で治療方針や方法を考えます。そして、指導教員の承認が得られたら、飼い主に提案し、同意が得られたら治療が行われます。私達も、担当する学生の許可が得て、診察室と一緒に入り、問診から見学させていただきました。問診の内容や、考えられる病因を推測して、必要な検査をリストアップしていくプロセスがみれるため、大変勉強になりました。ただ、この科も、診療日がきまっていますので、診療のない日は、あまり見学できるものがなかったように思います。何曜日が診療日なのかを、事前に確認しておくといでしょう。また、電子掲示板に、その日の診察予定がでていきますので、担当する学生にくっついて回ると効率よく見学できます。



ジョージア大学の研修では最初の方のスケジュールにも合った通り、臨床・ローテーションの後や休日などに様々なイベントをジョージア大学の方が企画してくれています。次はそれらのイベントについても少し紹介していきたいと思います。



これはTerrapinというアセンズにあるビール醸造所です。

12ドルで1杯6オンスのビールが6杯も飲めました。種類も豊富で約10種類ほどあり、6オンスはだいたい180mlくらいの量ですが、サービスなのか、入れ方がいい加減なのか毎回300mlくらい注いでくれたおかげで、かなり満足できる量を飲むこともできました。またカントリーミュージックの生演奏を聴きながらビールが飲めるというとても良い雰囲気な場所でした。また、ジョージア大学の学生も来ており、ビールを飲みながらいろいろな話をすることができました。

途中、希望者はビール工場内のツアーに参加することもできました。自分が使ったグラスは持ち帰ることが出来たので良い記念品になりました。



コカ・コーラ博物館はアセンズの大学内のホテルから車で1時間半程のアトランタ市街地内にあります。記念館ではコカ・コーラの歴史やその製法の秘密などについて4G映像や展示で知ることができ、中でもシアターは特に感動しました。

試飲ブースでは100種以上の世界中のコカ・コーラ社の製品を飲むことができました。アフリカ大陸のジュースの色と香りは破壊的で、アフリカ大陸に旅行に行ったときは、水しか飲まないと心に誓いました。日本の飲料はベジータベータという飲料だったのですが、これもまた何とも言えぬ味でした。

出口ではコカコーラのグッズショップがあり、日本へのお土産として皆色々を買っていました。



ジョージア水族館は コカ・コーラ博物館の目の前にある建物で、Dolphin tales、Cold water quest、River scout、Tropical diver、Ocean voyager、Aquanaut adventureというようにエリア別に展示されていて、アルビノのワニなど珍しい生き物が見れたりしました。ジョージア水族館の宣伝文句である世界最大の水量を誇る巨大水槽にいるジンベエザメの迫力は凄かったです。今回は時間の都合上、イルカのショーが見られませんでした。時間が合えば見ることはできると思います。



アメリカでの2週間で、様々なレストランにいき夕食を食べました。右上のダウンタウンにある「TRANSMETROPOLITAN」というイタリア料理店で食べた、この座布団みたいな幅約40cmの巨大ピザや、レタス丸ごとを4分の1にカットして上にドレッシングをかけ、周りにエビを置いただけという何ともワイルドなシュリンプサラダや、放射線治療科の永田先生が連れて行ってくださった「LongHorn」というお店のリブアイステーキや、いかにもアメリカらしい大きく、具だくさんのハンバーガーなどどれも日本では考えられないくらいのサイズでしたが、とても美味しかったです。



ダウンタウンにはたくさんのバーが存在します。私たちも何度か時間があるときにダウンタウンのバーに行きました。

ダウンタウンにあるジョージアシアターの屋上のバーではビールやカクテル、サンドイッチなどの軽食が売られていて、屋根が無いので空や街の景色が展望出来る良い場所でした。大勢の人で賑わっていて、夏の生暖かい風を感じながら飲むビールは最高でした。2週間の研修中には、様々なお店で色々なお酒を飲んだのですが、中でもBLUE MOONという名のビールがとてもおすすめで、アメリカにいる間に一番飲んだビールです。アメリカにはかなり多くの種類のビールが存在し、苦みも強いものから弱いもの、香りもフルーティーなものからいかにもビールというものがあり、自分の好みのビールを見つけてみるのも楽しいかもしれません。



休日にはホテル近くで学生が催したプールパーティに参加しました。到着すると、庭には横に滑ることができるウォータースライダーで楽しんだりするジョージア大学の学生が多くいて、ゲームを楽しんでいる真っ最中でした。スライダーを滑った学生がテーブル上にあるカップに入ったビールを飲み干し、そのカップを指で反転させて、成功したら次の学生がスライダーを滑るというリレー競争をしていたので、私たちも参加して楽しみました。ビールサーバーがあったので無料でビールを飲んだり、焼きたてのBBQチキンやスナック、山のように重なったピザを食べながら、皆でビリヤードをしたりして遊びました。日本ではこのような大規模なパーティをやる機会が無く、初めての経験だったので最高の思い出になりました。



免疫学の教授であるDr.Gogal宅でパーティーもありました。

先生の家はまさにアメリカ！って感じの映画に出てくるような豪邸で、庭には広い芝生とプール、バレーコートがありました。ビールやワインを飲みながら、大学の先生や学生と一緒にプールやバレーではしゃぎ、Gogal先生の奥さんの手料理を頂きながら楽しみました。食後には、書斎や地下室に行ってGogal先生の趣味である鉄道の模型を見せて頂いたりしました。



・Dr.Crnell宅でのフェアウェルパーティがあったので、事前に準備しておいた浴衣や甚兵衛を皆で着て参加しました。大きな牧場があり、家はログハウス風の作りで、周りは木々に囲まれて、木の良い香りがしました。文化交流として折り紙を持参してきていたので、参加していた学生に折り方を教えながら楽しんでいた人もいました。浴衣や折り紙など、あらかじめ用意しておく、そこから話が広がり仲良くなれるのでいいかもしれません。



ここまでもジョージア大学での研修のいいところについて説明してきましたが、特に良かったと思えた点について説明していきたいと思います。



ジョージア大学での研修における最大のメリットとも言えるのがスクールアンバサダーという制度です。ジョージア大学には私たち日本人研修生のお世話を担当する学生たちがおり、その学生たちが、夕食に美味しいレストランに連れて行ってくれたり、パーティを開いてくれたりしました。おかげさまでクリニカルローテーションのない夜や休日にも有意義な時間を過ごすことができました。



また、ジョージア大学で働いている日本人の先生である永田先生が正式にお願いしていないにもかかわらず、昼の休憩時間や夜にレストランや買い物に連れて行ってくださったり、病院内を隅から隅まで案内してくださりとても助かりました。来年ジョージアに行く人は、病院内で見かけしたら話かけてみたらいいと思います。



さらにジョージア大学研修では他大学の人とも交流できるというメリットもあります。今回の研修では、鹿児島大学と山口大学の人たちと一緒に2週間を過ごし、空き時間などと一緒に買い物したり、ご飯を食べに行ったりしました。現在青森県十和田市という僻地にいる私たちはなかなか他大学の獣医学部生と交流する機会はないと思います。ジョージア大学研修に行けば、アメリカの獣医学教育がどんなものか知ることができるのはもちろんですが、日本の他大学についても同時に知ることができます。また、他大学からの参加があるので、必然的に人数が多くなり、とても賑やかな海外研修になると思います。



この発表を聞いて、少しでもジョージアに興味をもって、来年行きたいと思ってくれたらうれしいです。私たちもジョージア大学に行く前はいろいろ不安が多かったですが、研修を終え、帰国した今ではとても有意義でたくさんのもので得られた2週間だと思っています。来年の夏、たくさんの思い出をつくりたい人はジョージア大学に行くことをおすすめします。(■)

これで発表を終わります。